



佐久祐司 議員

## 国保会計へ一般財源から繰入れする考えは

### 一般財源を国保加入者だけに使うことは不公平

質問・・・一般財源からの法定外繰入は公平性を侵すものではないと考えられないか。

町長・・・国保未加入の人は現役世代。子育て、共稼ぎなど経済状況が苦しい中、税金を納めている。その血税が含まれる一般財源を国保加入者だけのために使うのは不公平と考える。

質問・・・憲法に定められた生存権の保証は。

町長・・・多くの人は、健康である人が努力したことによって報われる社会を求めている。

質問・・・一般財源からの法定外繰入を行い、低所得者を保護することは町の義務に当たらないか。

町長・・・低所得者に対しては法定内繰入で対応できている。

質問・・・地方分権が進められる中、町独自の考えを反映させることも必要ではないか。

町長・・・6市町村では岡谷市と原村が法定外繰入を実施。富士見町の一人当たり8万6000円は6市町村の中で一番低い額。

質問・・・このまま上がり続けたら収納率が下がり、負のスパイラルに陥る。いくらまで引き上げは可能と考えるか。

住民福祉課長・・・検討はしていない。上がっているのは国保料だけではなく、国の動向を見ていく。

質問・・・パノラマには多額の資金を投入しているが、なぜ国保会計に繰入れることは出来ないのか。

町長・・・パノラマは過去の遺産。国保とパノラマは関係ない。

質問・・・今後の対策は。

町長・・・健康な生活を営んで、できるだけ医療にかからない運動を展開していく。料率が上がるのは国保だけではなく、トータルで考える必要がある。重要なことは医療費を抑えること、社会保障と税の一体改革で国の方針が決まること。

□その他の質問

\*地域防災計画について



五味平一 議員

## 危機管理として「新型インフルエンザ」への対応は

### 迅速に対応できる体制を整えている

質問・・・過去の経験から、新型インフルエンザについてどのように理解しているか。住民及び行政職員への周知方法は。

町長・・・新型インフルエンザは、動物と人間のかかわりの中で常に新種が発生する危険が極めて強いと認識している。特にリスクの高い案件については、まず国が対応を決定する。直ちに県の関係機関がこれを受け、町が対応、町民への周知ということになる。

質問・・・近隣市町村・医療機関との連絡体制はどうなっているか。また、新型インフルエンザ対応の行動計画書の作成時期は。

町長・・・6市町村の行政危機管理部

門及び保健管理衛生部門がメンバーとなり、対策本部がつくられる。この対策本部で、予防接種等の対策が決定される。

新型インフルエンザの行動計画書については、法律が制定されれば県の行動計画書が作成されたら、町の行動計画書を速やかに作成する。

■5月11日に発生した公務執行妨害について

質問・・・事件の顛末と再発防止策は。また、対応した職員のメンタルケアは。

町長・・・この問題は、国の法律を説明したことが気に入らないとのこと。発生した。これは逮捕された個人の問題である。役場職員の対応に落ち度はなく、正当な職務行為を妨げられたもの。

防止策として、いわゆるクレイマーと言われる人には、ベテランの職員を対応させる。

当時対応した職員はメンタル的ダメージを受けたが、今は回復している。

